

高等学校 令和7年度（2学年用）

教科 地歴公民

科目 日本史探究

教科 地歴公民

科目 日本史探究

単位数 3 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者 （1組：志村） （2組：小川） （3組：志村） （4組：小川） （5組：志村） （6組：志村）

使用教科書 （詳説日本史 日本史探究（山川出版社））

教科 地歴公民

の目標

【知識及び技能】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

歴史的事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連などに着目して、概念などを活用して考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを説明・議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。	諸事象についての課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ②織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。	第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	8
	①江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 ②江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	①17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ②幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。	3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	8
	①農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。 ②欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕府の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。	第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期	①国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ②幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足 第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	①東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進化した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ②第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	10
	①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ②労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	①戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	小テスト 課題				

3 学 期	済状況と対策に着目して理解する。 ②日本の対外政策の推移について、 世界情勢や軍部の政治的進出に着目 して、政党内閣の崩壊や国際的孤立 の過程について理解する。	2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	13
	①東アジア情勢の変化を踏まえ、連合 国による占領が終結して日本が独立し た意義を考える。 ②連合国による日本占領の終結と、そ の後の日米関係の継続について、 様々な国の立場から考察する。	第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1 合計 105

令和7年度（2学年用）		教科 公民	科目 公共
教科：公民	科目：公共	単位数：2 単位	
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組			
教科担当者：（1 組：渡邊）（2 組：渡邊）（3 組：渡邊）（4 組：渡邊）（5 組：渡邊）（6 組：渡邊）			
使用教科書：（帝国書院 高等学校公共）			
教科 公民	の目標：主権者、納税者としての自覚を持たせ、責任ある行動がとれる人間の育成を目指す 【知識及び技能】現代の諸事象について、世界とその中の日本を相互的な視点から捉え、諸資料から政治制度や経済システムに関する情報を調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】日本や世界に関わる諸事象について、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、現代の社会のしくみを理解する。 技能：諸資料から政治や経済に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。	諸事象についての課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	青年期と社会参画	・現代社会の特徴について理解する。 ・青年期の特徴について知り、生き方について考える。 ・悩みや、学習することの意味について考える。	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	5
	宗教・思想・伝統文化と社会	・宗教について知り、異文化理解について考える。 ・日本の文化や伝統について知り、世界の中の日本について客観的に見て、今後の日本のあり方について考える。	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	社会の基本原理と憲法の考え方	・民主主義の原理について理解し、主権者としての自覚を持つ。 ・権利の主体としての自覚を持ち、他人の人権も尊重する姿勢を養う。	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	民主社会と政治参加	・社会生活におけるルールの必要性や意味を考える。 ・裁判について知り、司法への参加の準備を整える。 ・議院内閣制について理解を深め、日本で政治に参加するための心構えを構築する。	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	12
	定期考査						1
	国際政治の動向と平和の追求	・国際社会や国際法について知り、地球規模で物事を考える姿勢を身につける。 ・安全保障制度について理解し、世界平和について考え貢献できる方法を探る。	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	12
	定期考査						1
3 学 期	市場経済のしくみ	・経済とは何かを知り、豊かな生活を送るために必要なことを理解する。 ・金融や財政の役割について知り、現在日本や世界が抱える問題について理解を深める。	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	10
	豊かな社会の実現	・豊かに生きるために作られた国の制度について知り、自身の人生をより豊かなものにするための助けとする。	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	11